読者のみなさんのページです。最終面に掲載している広報クイズの答えと一緒に、気ままなひとこと、ちょっと言いたいひとことを、お待ちしています。

井戸端 市民通信

月刊

読者の伝言板

＝敬称略＝

●去年は、テロ・会社倒産・狂牛病と嫌なことばかりの年でしたが、今年は、景気が回復して明るい年になるといいな…(猿田美樹　31歳・泉)

●世界の人々の願いは一つ。「日常的な平和」でしょう。今年は、どの国の人々にとっても良い一年になるよう心から願っています(高橋由美子　28歳・土崎港)

●初詣に行きました。あれもこれもいっぱいお願いごとをしました。百円玉一枚だけではちょっと虫が良すぎたかな(安田満子　59歳・外旭川)

●またまた除排雪の季節が来ました。雪を必要としている仕事のかたがたにはお叱りを受けるやとも思いますが、本音のところは雪が少なければと願っています(山崎権一　78歳・東通)

●私が子どもの頃、外では、羽根つき・雪だるま・かまくらなど冬は楽しい思い出がたくさんありました。今の子どもたちにもいろいろな遊びで、ぜひ雪の楽しさをを体験してもらいたいですね(佐藤セイ子　68歳・楢山)

●カービングスキーを買ってもらいました。オーパスで、たくさんすべって曲がれるようにじょうずになりたいです(佐藤真紀　11歳・桜)

●四月から燃えるごみと燃えないごみが一緒になるということで楽しみです。簡単に分別できるようだとうれしいです(仙波司　24歳・外旭川)

●今年も各町内、地域のみなさんの小さなつながりときずなを大切に…。四月からごみの収集が変わります。お互いの協力で明るい地域づくりを望みます(佐々木澄子　65歳・仁井田)

●うちのアパートの前には公園があります。まだ、暖かい時毎日のように子どもを連れて行ったのですが、いつも私たちだけ。まわりのアパートから子どもの声がたくさん聞こえてくるのに…。もっと積極的に外に出てきてほしいものです(明石聡美　27歳・新屋)

●娘の嫁ぎ先のおじいちゃ

地域の話題おしえて!!

このコーナーでは、町内や地域のいろいろな話題を紹介していきます。耳よりなニュースがありましたら、広報課までお知らせください。

☎(866)2034 FAX(866)2287

「やすらぎホームけやき」で餅つき交流

ぺったん！ぺったん！広がる笑顔

１月８日、御所野シルバーエリアにある「やすらぎホームけやき」で、地域の子ども会を招いて餅つき大会が開かれました。

集まった約200人の親子は、餅つきが始まるとヨイショ、ヨイショのかけ声をかけて会場を盛り上げます。ホームに入所しているお年寄りのかたがたも手拍子を添えてとても楽しそう。子どもたち、お年寄りが次々に飛び入りでお餅をつき合いました。

職員の佐藤与志夫さんは「お正月恒例の行事です。施設に子どもたちが来てくれるだけで明るくなるし、お年寄りの表情もいきいきしています」と子どもたちに感謝の様子。

お餅は参加者全員に振る舞われました。おじいちゃんもおばあちゃんも、みんなでついたお餅を食べて今年も健康が長も～ち！

お年寄りもキネを持って大張りきり！「若いもんには負けんぞ～」。